令和５年度事業報告書

社会福祉法人　京丹波町社会福祉協議会

目　次

総括・・・ 3

社会福祉協議会運営基盤の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

在宅福祉推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

高齢者福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３

障害者福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２

児童福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８

地域福祉推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０

ボランティア振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５

厚生福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０

福祉関係組織活動支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３

災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４

令和５年度事業報告

Ⅰ　総　　括

新型コロナウイルス感染症も５類に移行し、イベントや地域行事が再開されるなど、少しずつコロナ禍前の生活が戻りつつあります。しかしながら、この間に感染症がもたらした影響はあまりにも大きく、依然として日々の生活が苦しい世帯があります。また、社会情勢などからくる物価高騰もさらに追い打ちをかけ、新たな支援の必要性が高まっています。

そのような中、京丹波町社会福祉協議会（以下、本会）では、生活福祉資金特例貸付を利用された世帯に対し、その後の生活状況の聞き取りや貸付金償還の相談を行う「特例貸付フォローアップ事業」を展開し、相談会や電話、ときには世帯を直接訪問して償還の猶予や分割の手続き、フードバンクによる食料提供や就労に向けた支援など、関係機関とも連携しながら課題解決に向けた取り組みを進めました。

また、「京丹波町地域福祉活動計画」の第２期策定に向けたアンケート調査からは、日々の子育てや仕事、家計のやりくりが大変という声や、相談相手や頼れる人が身近にいない（相談しづらい）といった声があり、コロナ禍以降、さらに地域のつながりや助け合いが希薄化していることがわかりました。そこで、第２期計画では「いつでも参加できる活動づくり」を方針として、「思いを『かたち』にする場づくり」「『よいあんばいネット』づくり」「誰もが『きょうどう』できるしくみづくり」をキーワードに、地域の課題を共有しながら、交流や相互の助け合いが再度構築できるよう、皆様とともに活動を進めていきたいと思います。

災害支援については、京都府中丹地域を襲った８月の台風７号による豪雨災害において、綾部市災害ボランティアセンターへの職員派遣を行いました。本会では、平成３０年度以来となる職員派遣となり、ボランティアによる復旧活動も変化するなかで、被災者に寄り添った支援や現地社協への応援を再認識しました。なお、令和６年元日に発生した能登半島地震については、今年度内に本会からの職員派遣はありませんでしたが、引き続き支援が継続されており次年度以降に職員を派遣する予定です。

最後に財政改善については、令和４年度に策定した財政改善計画に基づき、今年度も役職員一丸となって取り組みました。自主財源の増加、役員手当や費用弁償、常勤職員の賞与の減額、経費の節約、行政からの補助金の増額など計画的に進め、黒字決算でしめることができました。しかし、根本的な改善にはいたっておらず、また令和６年度には介護保険事業等の報酬改定も控えるなかで、まだまだ安心できる状況ではなく気を引き締め取り組んでいきます。

以下、令和５年度本会が取り組んだ事業について報告いたします。

Ⅱ　社会福祉協議会運営基盤の強化

１　活動財源の確保

（１）会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民が主体となって運営する民間の団体であり、住民が会員となることで住民主体の福祉活動を進めます。

会費を納めることで、地域福祉推進の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えることになります。

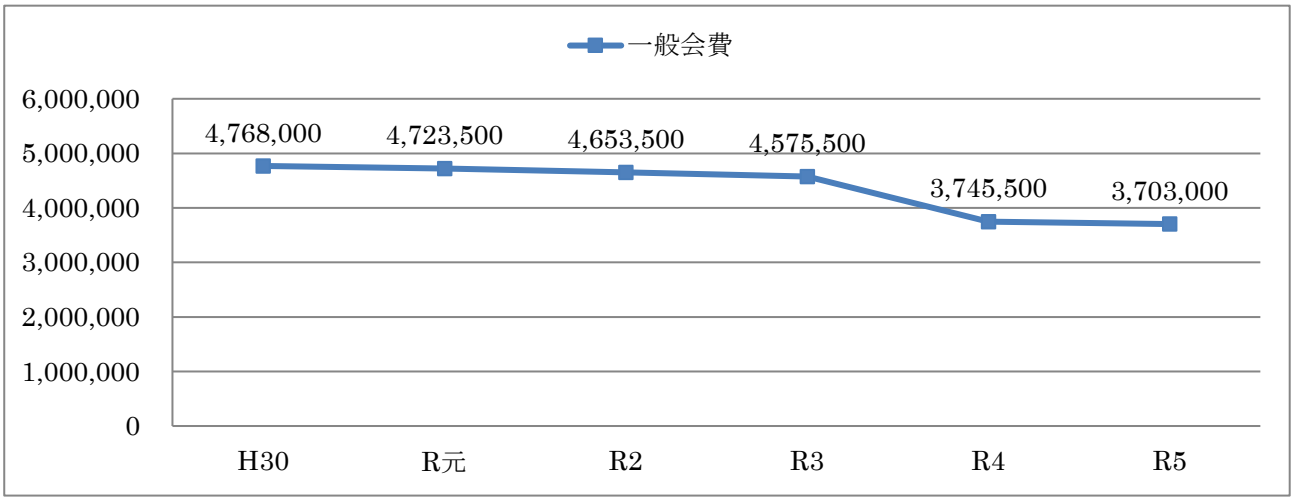
①会費納入状況

会員種別	丹　波	瑞　穂	和　知	町　外	合　計	備　　考
一般会員	1,409,000	1,243,000	1,043,000	8,000	3,703,000	成人者：1,000 円
特別会員	110,000	345,000	120,000	90,000	665,000	会社・事業所等：5,000 円
賛助会員	39,000	0	3,000	0	42,000	福祉施設・団体等：3,000 円
合　計	1,558,000	1,588,000	1,166,000	98,000	4,410,000	

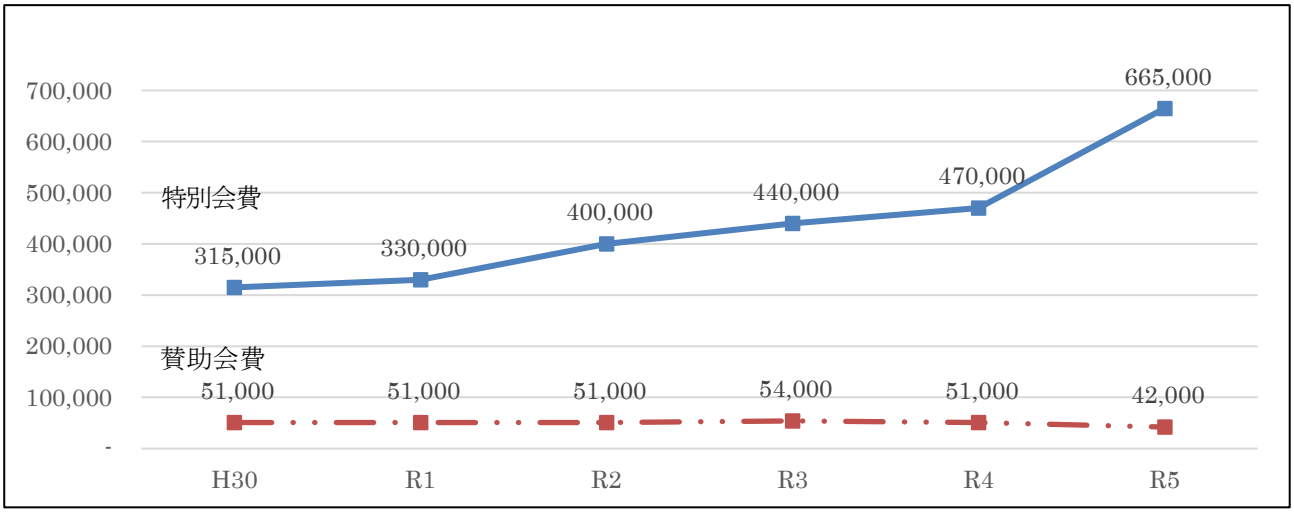
一般会費地区ごとの内訳

		H30	R元	R2	R3	R4	R5
丹波	会　費	1,829,000	1,827,000	1,803,000	1,770,000	1,450,000	1,409,000
	成人数	6,057	5,959	5,855	5,808	5,821	5,738
	加入率	30.2%	30.7%	30.8%	30.5%	24.9%	24.6%
瑞穂	会　費	1,581,000	1,554,000	1,540,000	1,519,000	1,253,000	1,243,000
	成人数	3,625	3,576	3,532	3,453	3,416	3,333
	加入率	43.6%	43.5%	43.6%	44.0%	36.7%	37.3%
和知	会　費	1,355,000	1,337,500	1,305,500	1,281,500	1,035,500	1,043,000
	成人数	2,602	2,545	2,471	2,386	2,349	2,296
	加入率	52.1%	52.5%	52.8%	53.7%	44.1%	45.4%
全域	会　費	4,768,000	4,723,500	4,653,500	4,575,500	3,745,500	3,703,000
	成人数	12,284	12,080	11,858	11,647	11,586	11,367
	加入率	38.8%	39.1%	39.2%	39.3%	32.3%	32.6%

■一般会費の推移（単位：円）



■特別・賛助会費の推移（単位：円）



※Ｒ５賛助会費の減少は、特別会費へ変更いただいたことによるもの。

（２）ご寄付を広くお受けできるように

社協は、既存の制度や事業に取り組むだけでなく、制度による福祉サービスでは十分に対応できない問題や制度の狭間にある福祉課題・生活課題に向きあい、地域住民の参加や協力を得ながら地域に根ざした取り組みを積極的に進めていくことが求められています。その財源として、地域住民からの寄付金を活用しています。

皆さんからご寄付として支援をいただきやすくするために、次の取り組みを進めています。

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入すると、売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、町内の下記事業所等に設置いただいています。

【寄付実績】

	ウッディパルわち	道の駅丹波マーケス	道の駅さらびきの里	アズビル京都株式会社	計
合計	１９，５２０円	４４，５０５円	７７，５０５円	５２，２７８円	１９３，８０８円

▲令和５年４月より、アズビル京都株式会社（鎌谷下）様に職員向けの自動販売機として１台設置いただいた。

②税額控除制度の活用

税額控除制度は、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引くことができるため、個人による小口寄附を促進する効果があります。

京丹波町社協では所轄庁である京都府に申請し、令和２年１０月に税額控除対象法人としての証明書を受けました。

「所得控除」か「税制控除」のどちらか有利な方を選択し控除を受けていただくことができます。

【成果・課題】

・本年度も一般会員の加入願いについては、各地区区長会や京丹波町自主放送番組でお願いした結果、全体の会費額は減少したものの、京丹波町の成人数における加入率は増加した。これは、新規での加入はもちろん、一世帯当たりの加入者数が増えたことが結果として表れており、今後も引き続き「成人一会員」の呼びかけに努めていきたい。

・会社や事業所に加入をお願いする特別会員については、昨年に比べ２件の入会辞退があったものの新規で１９件（賛助会員から特別会員に変更３件含む）に加入いただき大幅に増額となった。

・寄付金については、寄付つき自動販売機の協力事業所が増え、自動販売機による寄付額は増えているが、これまで香典返しを廃した供養にとご寄付いただいていた寄付金が、家族葬など葬儀の簡略化や香典の辞退などにより激減している。税額控除の対象法人としては、年間約１００件（３，０００円以上で同一寄付者は１件）の寄付者が必要であり、令和７年１０月には申請できない可能性がある。

２　法人運営

●会　　務

（１）理事・監事会・・・７回【書面決議含む】

R5.6.1	異動に伴う評議員候補者（案）について 令和４年度京丹波町社協事業報告（案）について 令和４年度京丹波町社協資金収支予算（案）について 令和５年度第１回評議員会の開催について 京丹波町社協事務局規程の一部改正（案）について 京丹波町社協旅費規程の一部改正（案）について 京丹波町社協慶弔・見舞規程の一部改正（案）について
R5.6.19	京丹波町社協正副会長の選任について
R5.8.25	京丹波町社協ハラスメント防止に関する規程（案）について 京丹波町社協就業規則（正職員）の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員就業規則の一部改正（案）について 京丹波町社協非常勤職員・パートタイマー等就業規則の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパー就業規則の一部改正（案）について
R5.11.30	評議員候補者（案）について 令和５年度京丹波町社協補正予算（案）について 令和５年度京丹波町社協上半期事業執行状況について 令和５年度京丹波町社協上半期予算執行状況について 定款変更（案）について 令和５年度第２回評議員会の開催について 京丹波町社協ハラスメント防止に関する規程の一部改正（案）について 京丹波町社協正職員給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協嘱託職員給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協非常勤職員・パートタイマー給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協登録ヘルパー給与規程の一部改正（案）について 京丹波町社協公印管理規程の一部改正（案）について
R5.12.18	【書面決議】 令和５年度第２回評議員会の開催を省略し書面決議とすることについて ※当初、第２回評議員会を参集による開催で案内したが、決議に必要な出席人数に達しなかったため書面決議による開催に変更した。
R6.1.26	【書面決議】 令和５年度第２次補正予算（案）について 令和５年度第３回評議員会の開催を省略し書面決議とすることについて ※共同作業所丹波本所の車両購入のため、緊急に補正予算（案）を評議員会に提案するため。また、その第２次補正予算（案）を承認いただく第３回評議員会も、開催を省略し書面決議とすることについて。
R6.3.1	令和５年度第３次補正予算（案）について 令和６年度京丹波町社協事業計画（案）について 令和６年度京丹波町社協資金収支予算（案）について 理事候補者の確認について 令和５年度第４回評議員会の開催について 第２期京丹波町地域福祉活動計画（案）について 評議員選任・解任委員会外部委員の承認について

（２）監査会・・・２回

R5.5.23	令和４年度事業及び収支決算についての監査
R5.11.22	令和５年度上半期事業及び収支予算執行状況について監査

（３）評議員会・・・４回【書面決議含む】

R5.6.19	任期満了に伴う京丹波町社協理事・監事の承認について 令和４年度京丹波町社協事業報告（案）の承認について 令和４年度京丹波町社協資金収支決算（案）の承認について
R5.12.30	【書面決議】 令和５年度第１次補正予算（案）の承認について 令和５年度京丹波町社協上半期事業執行状況の確認について 令和５年度京丹波町社協上半期予算執行状況の確認について 定款変更（案）について
R6.2.7	【書面決議】 令和５年度第２次補正予算（案）の承認について
R6.3.19	令和５年度第３次補正予算（案）の承認について 令和６年度京丹波町社協事業計画（案）の承認について 令和６年度京丹波町社協資金収支予算（案）の承認について 理事の承認について

（４）三役・管理職会議・・・１３回

R5.4.14	財政改善、規程の変更、コロナ５類への対応、各課からの報告、他
R5.5.18	財政改善、事業報告、規程の変更、各課からの報告、他
R5.6.5	賞与について
R5.7.20	消費税とインボイス制度、日直業務、ハラスメント防止対策、財政改善、各課からの報告、他
R5.8.22	台風７号に伴う災害派遣、財政改善、最低賃金、規程の変更、各課からの報告、他
R5.9.21	今後の体制、財政改善、最低賃金、各課からの報告、他
R5.10.24	インフルエンザ予防接種補助、今後の体制、財政改善、上半期事業報告、各課からの報告、他
R5.11.20	町長との懇談報告、財政改善、今後の体制、今後の日程、各課からの報告、他
R5.12.15	採用に向けて、財政改善、年末年始、市町村社協役職員セミナー、各課からの報告、他
R6.1.26	能登半島地震の支援、採用試験、財政改善、福祉まつり、今後の日程、各課からの報告、他
R6.2.22	R6 事業計画・予算、理事候補者、来年度体制、財政改善、各課からの報告、他
R6.3.15	来年度体制、財政改善、生活福祉資金と民生委員との連携、各課からの報告、他
R6.3.30	財政改善

（５）各種運営委員会

委　員　会　名	丹　　波	瑞　　穂	和　　知	合　　計
心配ごと相談所運営委員会	0			0
福祉資金貸付委員会	0	0	0	0
ボランティアバンク運営委員会	2			2
理事・監事推薦委員会	0			0
評議員選任・解任委員会	2			2

（６）管理職（課長）会議・・・１４回

R5.4.7	財政改善、事業報告、人事考課、規程の変更、各課からの報告、他
R5.5.11	財政改善、規程の変更、各課からの報告、他
R5.6.8	財政改善、人事考課、夏季休暇、会長交代に伴う手続き、各課からの報告、他
R5.7.14	消費税とインボイス制度、日直業務、財政改善、各課からの報告、他
R5.8.16	消費税とインボイス制度、財政改善、最低賃金、規程の変更、各課からの報告、他
R5.9.14	今後の体制、財政改善、最低賃金、上半期事業報告、各課からの報告、他
R5.10.16	財政改善、インフルエンザ予防接種補助、今後の体制、各課からの報告、他
R5.11.1	当面の課題、他
R5.11.13	財政改善、予算要望、上半期事業報告、各課からの報告、他
R5.12.7	採用に向けて、財政改善、年末年始、各課からの報告、他
R6.1.12	能登半島地震の支援、採用試験、財政改善、各課からの報告、他
R6.2.7	能登半島地震の支援、事業ヒアリング、来年度の体制、理事・評議員の定数、各課からの報告、他
R6.3.6	処遇改善加算、財政改善、来年度の体制、各課からの報告、他
R6.3.19	財政改善、他

（７）職員内部研修、会議・・・１回

R6.1.31	在宅福祉課虐待防止研修
R6.3.21	共同作業所虐待防止研修

▲共同作業所で行った虐待防止研修

【在宅福祉推進事業】

１　福祉サービス利用援助事業

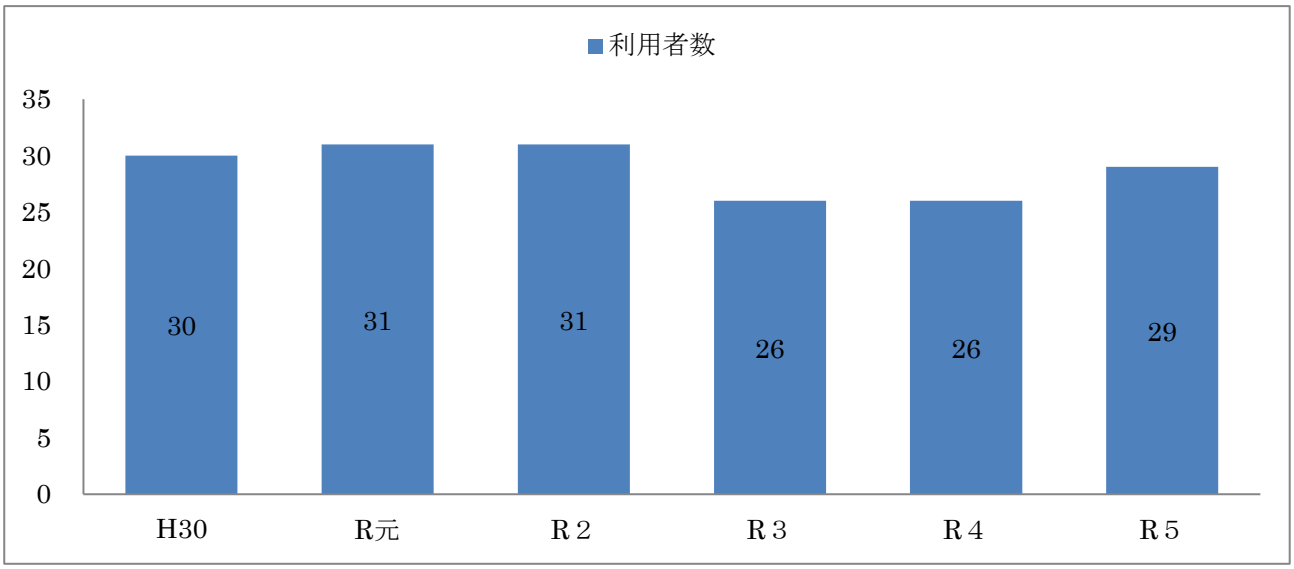
認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

■契約・支援等の件数・・・・令和６年３月３１日現在

	Ｒ４年度支援件数					解約件数	新規件数	保留件数	Ｒ５年度支援件数					生活保護受給者数	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波地域	4	1	4	2	11	3	2	0	3	1	5	1	10	6	0
瑞穂地域	2	1	0	6	9	1	2	1	3	1		6	10	4	2
和知地域	3	1	1	1	6	1	4	0	3	1	3	2	9	0	2
合　　計	9	3	5	9	26	5	8	1	9	3	8	9	29	１０	4

①　令和５年度　新規契約者数　→　　８名
②　令和５年度　解約者数　　→　　５名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

支　援　内　容	丹波	瑞穂	和知	合計	備　　考
○福祉サービス利用援助	１０	１０	9	２９	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的金銭管理	１０	１０	9	２９	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	１０	１０	8	２８	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	1	1	0	2	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員会議、研修等の開催

専門員・・・・４回

研　　修　　名	開　催　日	内　　容
第１回運営会議	R5.8.9	事業の成果及び課題と今後の展開について
第２回運営会議 令和５年度実務研修	R5.8.31	事業の成果及び課題と今後の展開について 実地調査の報告から適切な支援方法についての学び合い
乙訓・南丹ブロック別事例等検討会	R6.1.23	他市町村社協の事例について検討を行った
関係機関・団体等との情報・連絡会議 法人後見実施団体会議	R6.3.28	総合的な権利擁護支援について 法人後見の現状と課題について

生活支援員・・３回

研　　修　　名	開　催　日	内　　容
生活支援員新任研修	R5.7.31	事業の概要と生活支援員の職務について
生活支援員現任研修	R5.12.6	意思決定支援とは 実践報告（京田辺市）
南丹ブロック現任生活支援員研修交流会	R6.1.10	精神疾患の基礎知識と障害のある方への接し方について（講義、グループワーク）

【成果・課題】

・今年度は和知地域の方の新規相談及び契約が多かった。

・新規ケースは施設入所、成年後見制度利用までのつなぎとして契約したケースがあった。

・解約の内訳は施設入所３件、死亡２件だった。

・令和６年度早々に３件の解約と１件の契約を予定している。また新規利用の相談も見込まれているため、契約件数は３０件前後を維持していくと予想される。

・町内における金融機関の窓口開設時間の短縮や、移動に要する時間等、利用者の生活実態だけでなく地域の実情も考慮しながら業務にあたることが求められている。

２　住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

（１）実　績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
かがやき（件）	３	５	３	７	３	４	５	９	２０	４	４	３	**７０**
総合事業（件数） ※訪問型サービスＡ	２０	１７	２１	２３	２４	２４	２１	２１	１９	１３	１５	１４	**２３２**
新規利用者数（人）	１	０	１	１	０	１	０	１	４	０	１	１	**１１**

（２）依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
障子張り替え	１	衣替え・衣類整理	３
荷物整理	３	ごみ分別・ゴミ捨て	４４
ガラス拭き	１４	掃除（居室・外回り）	４
草引き	１	調理・掃除（総合事業）	２３２

（３）登録活動者数

（令和６年３月３１日現在）

８９名（男性　２１名、女性　６８名）

【成果・課題】

・依頼者もできることを一緒に行うことで、依頼者の気持ちに寄り添いながら行う活動になっている。

・ゴミ捨て（可燃ゴミ・ビニールゴミ）で困っているという声をよく聞くようになってきている。かがやきや訪問型サービスＡ事業での活動者の協力だけでなく、地域での助け合い活動や協力などが今後ますます必要になってくると感じる。

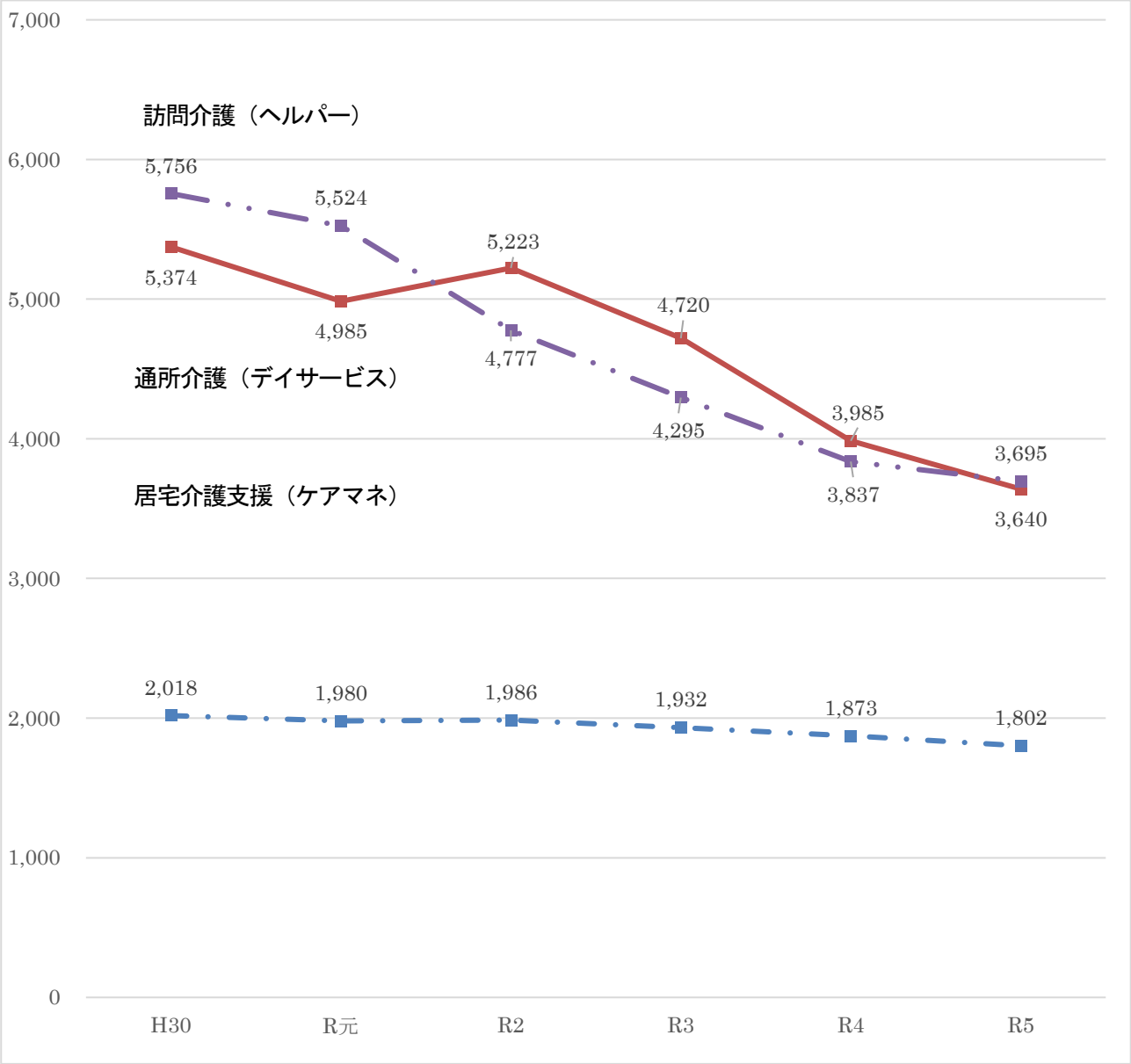
【高齢者福祉事業】

1　介護保険事業

※利用状況推移（要支援１、２、総合事業、要介護１～５の合計）

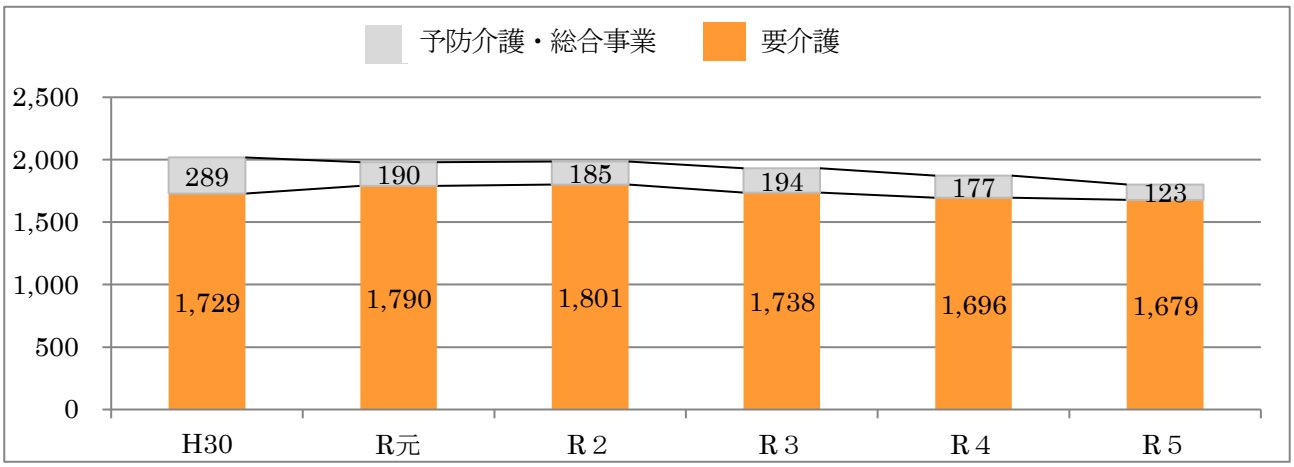
・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）　　・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）

・ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ（延べ提供回数、単位：回）



（１）**居宅介護支援事業・・・**ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援１・２の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援１	要支援２	総合事業	合　計
５年度	**１２**	**８７**	**２４**	**１２３**
４年度	１	１２５	４０	１７７
３年度	１	１４６	４７	１９４
前年度比較（%）	１２００．０	６９．６	６０．０	６９．５
３年度比較（%）	１２００．０	５９．６	５１．１	６３．４

■居宅介護支援事業の実績（介護１～５までの利用状況実績）

延べ利用者数	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合　計
５年度	**３７３**	**７５８**	**３０８**	**２１４**	**２６**	**１，６７９**
４年度	４３４	７３３	３０５	１８４	４０	１，６９６
３年度	４２８	７２６	３２２	２０４	５８	１，７３８
前年度比較（%）	８５．９	１０３．４	１０１．０	１１６．３	６５．０	９９．０
３年度比較（%）	８７．１	１０４．４	９５．７	１０４．９	４４．８	９６．６

【成果・課題】

・利用状況実績が前年度並みとなり大幅に低下せずに業務遂行できた。

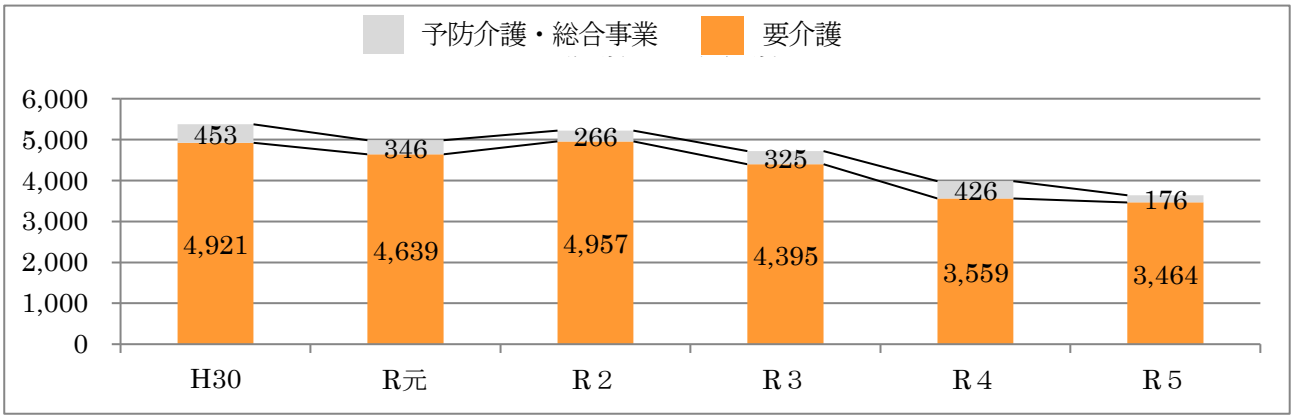
・少ない介護支援専門員でもチーム力を向上させ情報の共有を図りながら、質の高いケアマネジメント目指し取り組んでいる。

・介護に対しての考え方や高齢者ケアへの道筋を一緒に考え導き出そうと提案するが、家族の考えも時代と共に変化が見られ、対応に苦慮することがある。

・利用者世帯全体に課題があり、変化が目まぐるしい中での介護に対して、家族の心身の状況にも配慮しながら対応しているが、時には感情的な態度や言葉をかけられることもある。介護支援専門員としてきつくつらい時もあるが、引き続き利用者、家族の気持ちに寄り添いながら支援できるように努めていきたい。

（２）**訪問介護事業**・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■予防訪問介護事業の実績（総合事業・要支援１・２の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要　支　援　１	要　支　援　２	総合事業	合　　計
５年度	**１２**	**３０**	**０**	**４２**
４年度	１２	３８	２０	７０
３年度	０	３５	２７	６２
前年度比較（%）	１００．０	７８．９	―	６０．０
３年度比較（%）	―	８５．７	―	６７．７
延べ提供回数（回）	要　支　援　１	要　支　援　２	総合事業	合　　計
５年度	**４９**	**１２７**	**０**	**１７６**
４年度	４７	２２９	１５０	４２６
３年度	０	１５４	１７１	３２５
前年度比較（%）	１０４．３	５５．５	―	４１．３
３年度比較（%）	―	８２．５	―	５４．２

■訪問介護事業の実績（介護１～５の利用状況実績）

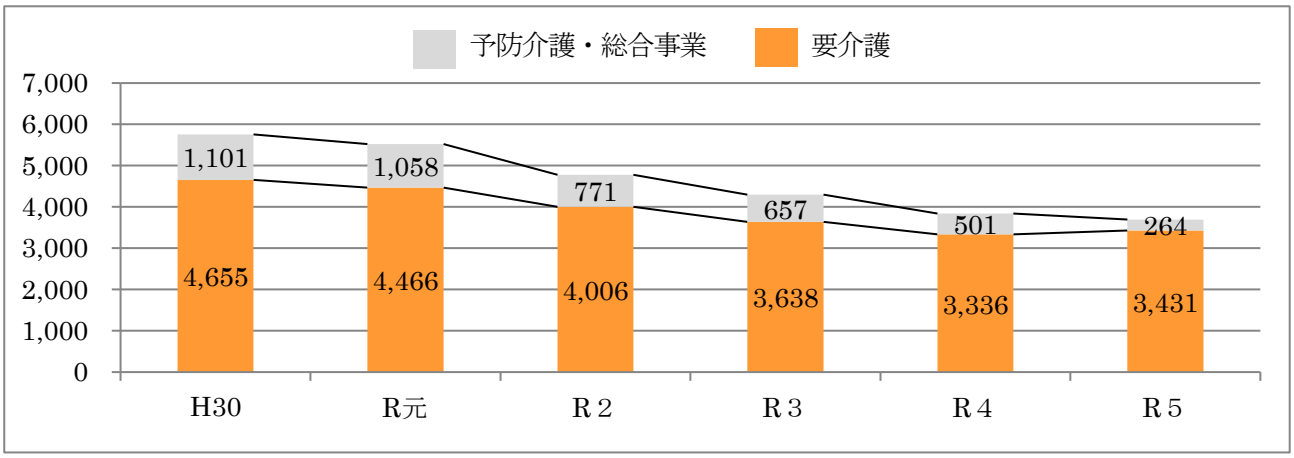
延べ利用者数	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合　計
５年度	**１３８**	**１８６**	**６８**	**３３**	**６**	**４３１**
４年度	２１２	１９１	９０	４４	１６	５５３
３年度	２１６	１７８	１０３	４４	１２	５５３
前年度比	６５．１	９７．４	７５．６	７５．０	３７．５	７７．９
３年度比較	６３．９	１０４．５	６６．０	７５．０	５０．０	７７．９
延べ提供回数	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合　計
５年度	**１，１１４**	**１，４３９**	**４１１**	**４８８**	**１２**	**３，４６４**
４年度	１，２３９	１，３６６	５５５	５４７	１５２	３，５５９
３年度	１，３１８	１，４７５	８３８	６１０	１５４	４，３９５
前年度比	８９．９	１０５．３	７４．１	８９．２	７．９	９７．３
３年度比較	８４．５	９７．６	４９．０	８０．０	７．８	７８．８

【成果・課題】

・総合事業・要支援の利用では、訪問回数の多い人が亡くなられたことや訪問型サービスＡに移行されたため少なくなった。

・利用者が入院された場合、状態の悪化等もあり在宅に戻られる方が少なくなってきている。
・ヘルパーの高齢化や少ない人員体制のため、身体介護（入浴介助）の新規受け入れは現状としては難しい。
・新型コロナウイルス感染症対策予防のため、手指消毒・うがい等の徹底を行い、定期的な抗原検査を実施してサービス提供を行った。また、利用者に発熱等の症状があれば、マニュアルに基づいた対応を行い家族やケアマネジャー等と連携を図って支援が行えた。

（３）通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供
※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

延べ利用者数		述べ提供回数	
５年度利用状況	**３６**	**５年度提供回数**	**２６４**
４年度利用状況	８４	４年度提供回数	５０１
３年度利用状況	１０４	３年度提供回数	６５７
前年度比較（%）	４２．９	前年度比較（%）	５２．７
３年度比較（%）	３４．６	３年度比較（%）	４０．２

■通所介護事業の実績（介護１～５の利用状況実績）

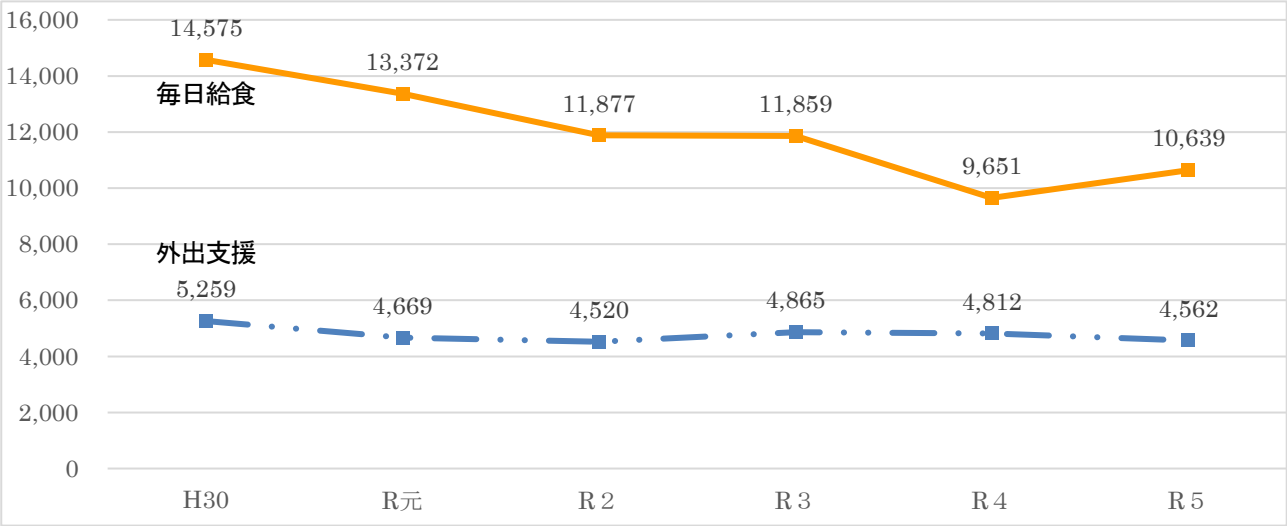
延べ利用者数（人）	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合　計
５年度	**８９**	**１６５**	**４３**	**３８**	**２４**	**３５９**
４年度	１４３	１２０	８５	４４	２９	４２１
３年度	１１６	１４７	９２	５２	４３	４５０
前年度比較（%）	６２．２	１３７．５	５０．６	８６．４	８２．６	８５．３
３年度比較（%）	７６．７	１１２．２	４６．７	７３．１	５５．８	７９．８
延べ提供回数（回）	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合　計
５年度	**７９６**	**１，４８３**	**４０６**	**３１６**	**４３０**	**３，４３１**
４年度	１，０３８	８５４	６８４	３３６	４２４	３，３３６
３年度	７７６	１，０１２	７８６	４４６	６１８	３，６３８
前年度比較（%）	７６．７	１７３．７	５９．４	９４．０	１０１．４	１０２．８
３年度比較（%）	１０２．７	１４６．５	５１．７	７０．９	７０．０	９４．３

【成果・課題】
・新規利用者の受け入れは曜日ごとの人員体制や利用者数をみながら受け入れている。

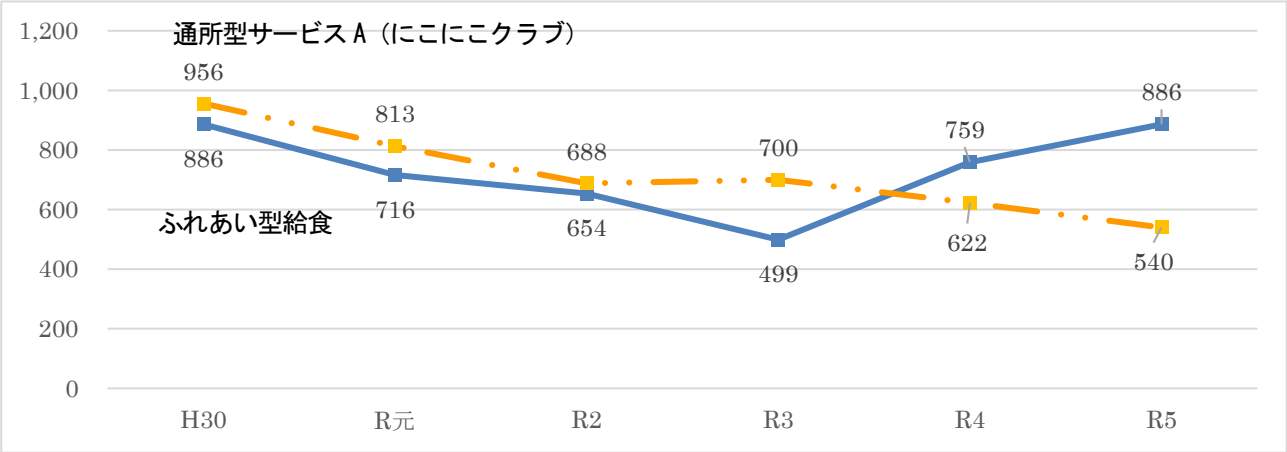
２　高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

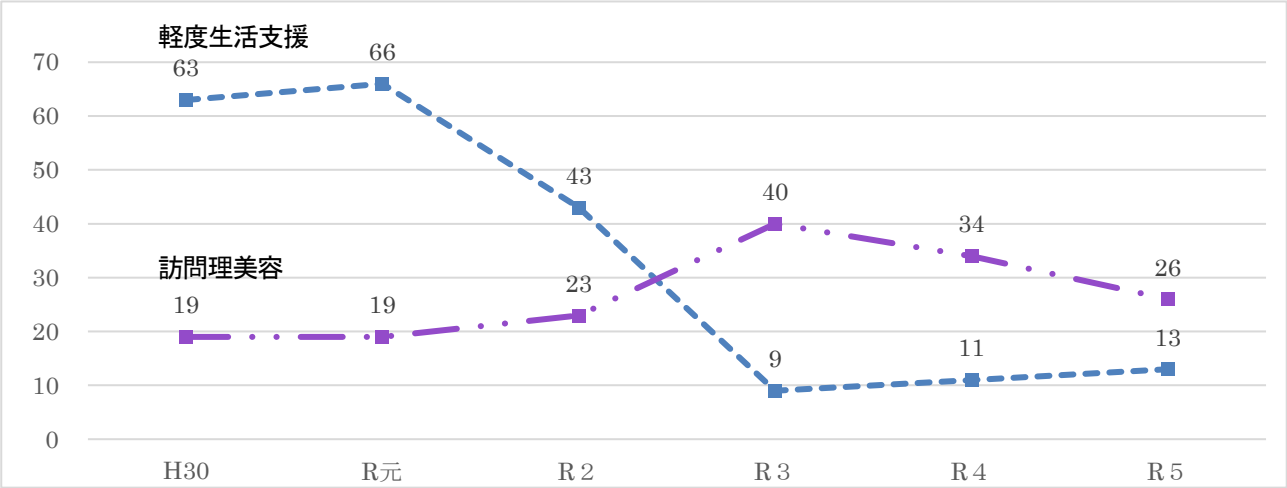
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）　　・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）　　・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）　　・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）



（１）軽度生活支援事業

■対象者：概ね６５歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方

■内　容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助

■提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数（人）	丹　波	瑞　穂	和　知	合　計
５年度	**０**	**１３**	**０**	**１３**
４年度	０	１０	０	１０
３年度	０	８	０	８
前年度比較（%）	―	１３０	―	１３０
３年度比較（%）	―	１６２．５	―	１６２．５
延べ提供回数（回）	丹　波	瑞　穂	和　知	合　計
５年度	**０**	**１３**	**０**	**１３**
４年度	０	１１	０	１１
３年度	０	９	０	９
前年度比較（%）	―	１１８	―	１１８．１
３年度比較（%）	―	１４４．４	―	１４４．４

【成果・課題】

・現在は資源ごみ回収だけの活動となり、２カ月に１回程度の活動となっている。

（２）外出支援事業

■対象者：概ね６５歳以上の高齢者、または概ね６０歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方

■内　容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎

■提供者：運転介助員、ホームヘルパー

	延べ利用者数（人）	延べ提供回数（回）
５年度	**１，３８５**	**４，５６２**
４年度	１，６９９	４，８１２
３年度	１，７０６	４，８６５
前年度比較（%）	８１．５	９４．８
３年度比較（%）	８１．２	９３．８

【成果・課題】

・相乗りが始まったことで、上手く時間が合えば送迎時間の短縮にもなり、利用者の方も待ち時間が短くなった。しかし、送迎時間の変更や利用者相互に相乗りの了解を得るなど事前の連絡が多くなり調整に時間がかかる。

・病状等によっては、自分で迎えの連絡ができない方は病院や薬局が代わりに迎えの連絡を入れていただくなど連携しながら支援が行えた。

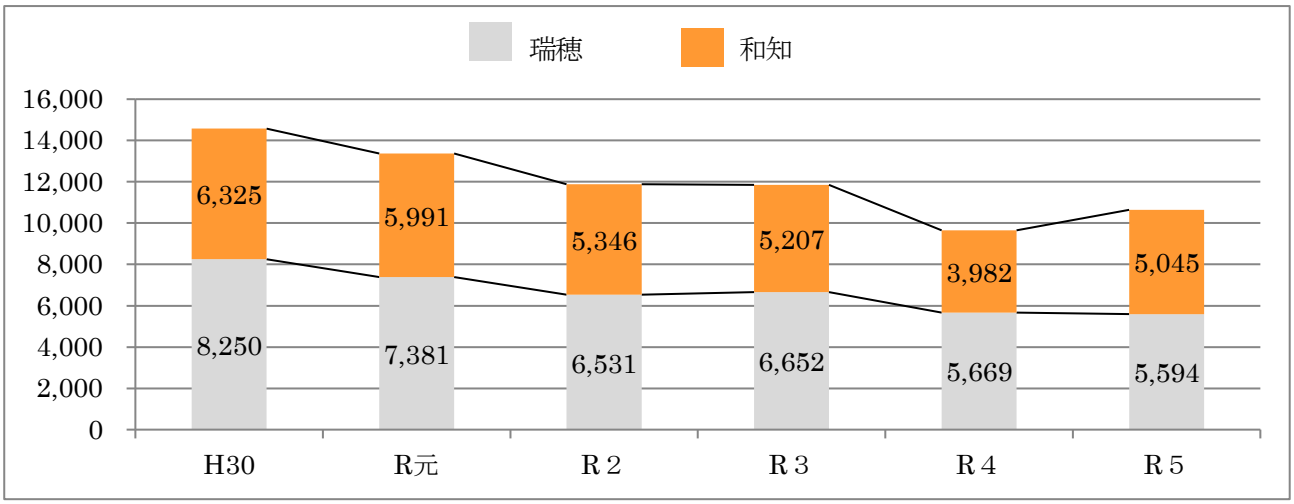
・過去２年間に比べ利用人数は減少しているが、令和３年から令和４年は新型コロナウイルス予防接種による利用が多かった期間である。そのため令和５年度はコロナ前の令和２年（１，３３９人、４，５２０回）、令和元年（１，４２２人、４，６６９回）に近い件数となっており、コロナ前の状況に戻ったと推測される。

・介護状態の利用者も多く、運転手の負担が増えている。

（３）－１　**食の自立支援事業（毎日給食）**

■対象者：調理が困難な一人ぐらし高齢者
■地　区：瑞穂地区、和知地区のみ　　※丹波地区は丹波高原荘が実施
■内　容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
■利用料：１食　５００円（ご飯、おかず）、４５０円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数（人）	瑞　　穂	和　　知	合　　計
５年度	**３１４**	**３２５**	**６３９**
４年度	３４２	２７１	６１３
３年度	４１３	３１３	７２６
前年度比較（%）	９１．８	１１９．９	１０４．２
３年度比較（%）	７６．０	１０３．８	８８．０
延べ提供食数（食）	瑞　　穂	和　　知	合　　計
５年度	**５，５９４**	**５，０４５**	**１０，６３９**
４年度	５，６６９	３，９８２	９，６５１
３年度	６，６５２	５，２０７	１１，８５９
前年度比較（%）	９８．７	１２６．７	１１０．２
３年度比較（%）	８４．１	９６．９	８９．７

【成果・課題】

・和知地区での需要が高まり利用者数、提供食数ともに前年度を上回った。
・利用者数に比べ提供食数の伸びが大きく、利用者一人当たりの食数が微増する傾向となっている。

（３）－２　食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

■対象者：一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）

■内　容：調理・配食ボランティアによる月２回実施の「かけはし弁当」

■利用料：１食　４００円

	配食数（食）	調理ボラ数（人）	配食ボラ数（人）
５年度	**８８６**	**１０６**	**２１９**
４年度	７５９	９７	２４８
３年度	４９９	６３	１４５
前年度比較（%）	１１６．７	１０９	８８
３年度比較（%）	１７７．６	１６８	１５１

【成果・課題】

・ひとり暮らしや高齢世帯が増えている中毎日給食の申請も多くなり、それに伴い利用数が増えた。

・既存ボランティアに、高齢化や体調不良を理由に続けることが難しい等の意見がある。

（４）訪問理美容事業

■対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等

■内　容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う

■利用料：１回　１，０００円

延べ利用者数（人）	丹　波	瑞　穂	和　知	合　計
５年度	**９**	**１１**	**６**	**２６**
４年度	１１	１１	１２	３４
３年度	１２	１２	１６	４０
前年度比較（%）	８１．８	１００．０	５０．０	７６．４
３年度比較（%）	７５．０	９１．７	３７．５	６５．０

【成果・課題】

・新規利用者はなく、利用者の入所や死亡により減少傾向にある。

（５）通所型サービスＡ事業（にこにこクラブ）

■対象者：総合事業対象者の高齢者。

■内　容：５班体制で、月２回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施

■会　場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
４月	18、20	29	10 月	3, 5.19	53
５月	16、18	28	11 月	2.7.16.21	49
６月	6、8、20、22	60	12 月	7.19.21	50
７月	4、6、18、20	58	１月	16.18	24
８月	22、24	25	２月	6.8.20.22	48
９月	5、7、19、21	55	３月	12.14.21	61
合　　計					**５４０**
４年度実績					６２２
前年度比（%）					８６．８

【成果・課題】

・必要に応じて介護保険事業につなげられた。

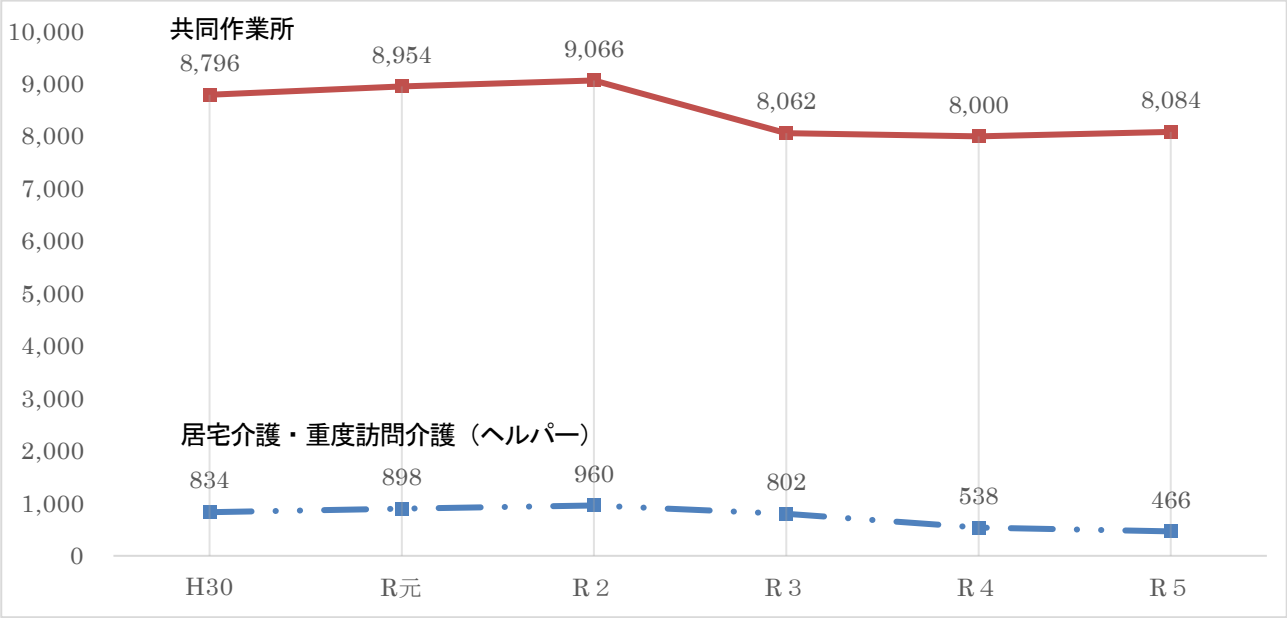
・特に和知地区では地域でのサロン開催が厳しくなっている中、このような介護予防事業が大切な役割を担っている。

・上半期は他の事業利用や入所等があり、利用を終了される方が多くあった。人数が減ったグループは、活動内容も限られたが下半期には人数も増え、活気づいた。一定の利用者数があることで参加者もいきいきと活動されるように思う。

【障害者福祉事業】

1　障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



（１）居宅介護・重度訪問介護事業

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数（人）	障害支援区分１	障害支援区分２	障害支援区分３	障害支援区分４	障害支援区分５	障害支援区分６	合　計
５年度	**０**	**４３**	**２５**	**２０**	**０**	**０**	**８８**
４年度	７	４０	２９	１７	０	０	９３
３年度	１２	３６	４６	３	５	０	１０２
前年度比較	―	１０７．５	８６．２	１１７．６	―	―	９４．６
３年度比較	―	１１９．４	５４．３	６６６．７	―	―	８６．３
延べ提供回数（回）	障害支援区分１	障害支援区分２	障害支援区分３	障害支援区分４	障害支援区分５	障害支援区分６	合　計
５年度	**０**	**３３３**	**６０**	**７３**	**０**	**０**	**４６６**
４年度	４２	３６０	４７	８８	０	０	５３８
３年度	４２	３５４	１４０	１８	１７２	０	８０２
前年度比較	―	９２．５	１２７．７	８３．０	―	―	８６．６
３年度比較	―	９４．１	４２．９	４０５．６	―	―	５８．１

【成果・課題】

・新型コロナウイルス感染症対策予防のため、手指消毒・うがい等の徹底を行い、定期的な抗原検査を実施してサービス提供を行った。また、利用者に発熱等の症状があれば、マニュアルに基づいた対応を行い家族や相談員等と連携を図って支援が行えた。

（２）障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援や就労訓練を行う。

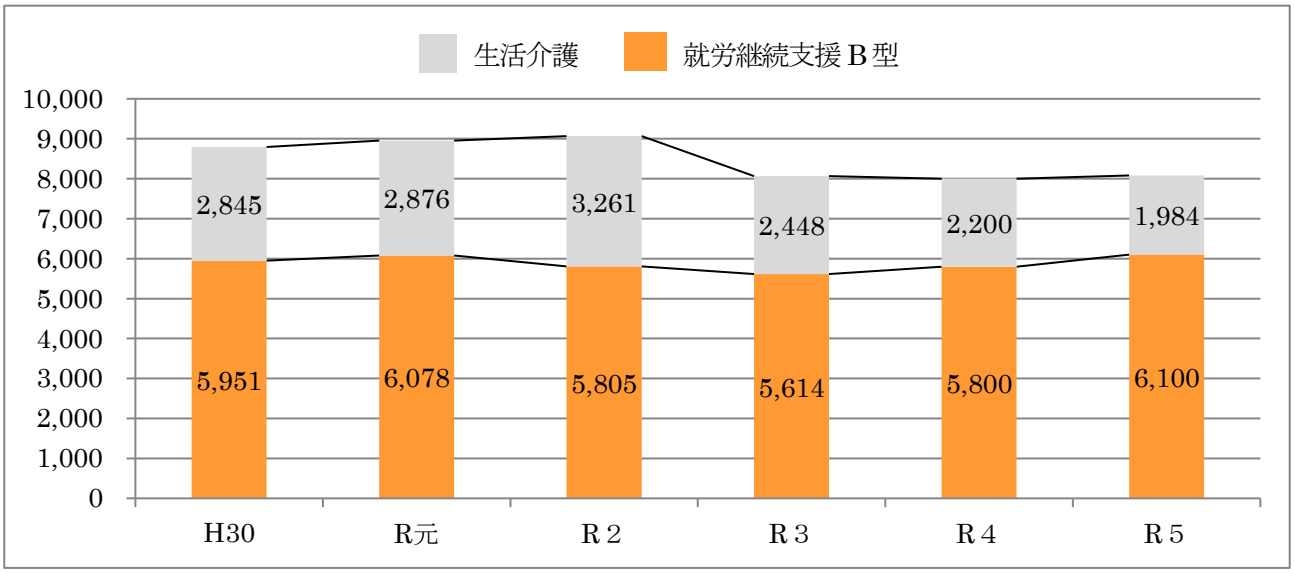
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援Ｂ型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

延べ利用者数（人）	生活介護	就労継続支援Ｂ型	合　　計
５年度	**１，９８４**	**６，１００**	**８，０８４**
４年度	２，２００	５，８００	８，０００
３年度	２，４４８	５，６１４	８，０６２
前年度比較（%）	９０．２	１０５．２	１０１．１
３年度比較（%）	８１．０	１０８．７	１００．３

■利用者数（令和５年３月３１日現在）

生活介護　　…　１１名

就労継続支援Ｂ型…　３５名　　**合計　４６名**

■入退所者数

入所者…２名

退所者…３名　退所理由（他Ａ型事業所１名、他Ｂ型事業所１名　死亡１名）

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

・５/２１（日）道の駅味夢の里 皐月マルシェ　於：道の駅　味夢の里

・５/２８（日）京都府障害者ふれあい広場スポーツレクリエーション　於：丹波自然運動公園

・６/１７（土）きのことギャザリング　於：グリーンランドみずほ

・８/２０（土）和知ふるさとまつり　於：和知駅前

・１１/５（日）上和知中部村まつり　於：和知ゆめ広場

③研修会

職員全体会議	開　催　日	内　　容
第１回全体会議	４/３	新年度体制・職務分担・年間行事計画他
第２回全体会議	３/２１	虐待防止研修

○外部研修

研修会名	開　催　日	場　　所
計画相談支援員現任研修（更新研修）	８/２８～３０	みやこメッセ
サービス管理責任者更新研修（国研修）	９/１２～１５	国立障害者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ学院
サービス管理責任者現任研修（更新）	９/２８	みやこメッセ
障害者虐待防止・権利擁護研修	１１/２２	京都テルサ
ほっとはあと製品販売促進等研修	３/１４	南丹保健所

④避難訓練（各支所年1～2回実施）

第１回避難訓練…地震想定訓練

第２回避難訓練‥‥3月４日（3支所合同消火器取り扱い訓練

⑤実習生受け入れ

学校名	受入日	備　　考
府立丹波支援学校	７/２７・２８	高等部３年生　和知支所
府立丹波支援学校	８/２・３	高等部３年生　丹波本所
府立丹波支援学校	３/１２	高等部３年生（卒業後）丹波本所

⑥地域交流（ボランティア）

・作業所和知支所・・・十三の会（アルミ缶回収・ネギ調整）　七八会（ネギ調整）

※個人ボランティア（毎週１～2回）　丹波本所

⑦職場実習

就労を目指している方の職場実習

実　習　先	開　催　日	内　　容
あかりガラス	９月に週３回	検品作業等
大崎農園	３月から週４回	ネギ育苗、ネギ洗浄、出荷作業等

※実習からトライアル雇用につながったケース　１件（あかりガラス）

※大崎農園は現在トライアル雇用中

⑧健康管理

・毎月１回健康観察、健康相談

・健康診断受診率はほぼ100％

【成果・課題】

・新型コロナウイルス感染症が５類に以降してからも、マスク着用にて作業所運営を継続し、蔓延することなく５年度を終えた。また、各支所間での利用者の行き来きや合同消火器取り扱い訓練等、コロナ過以前に戻り、作業以外の余暇活動も楽しむことができた。

２　特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目　的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■実　績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	5
計画相談	4	3	8	1	2	2	4	1	7	2	4	2	４０
モニタリング	6	3	3	3	5	1	7	4	9	1	0	2	４４

【成果・課題】

・地域資源が少ない中で、町外事業所とのサービス調整が増加傾向にある。

・関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築のもと、適切な福祉サービス利用調整を提供していくことが、より一層求められている。

３　ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

■目　的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内　容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進を図る。

■利用状況　　※延べ参加人数

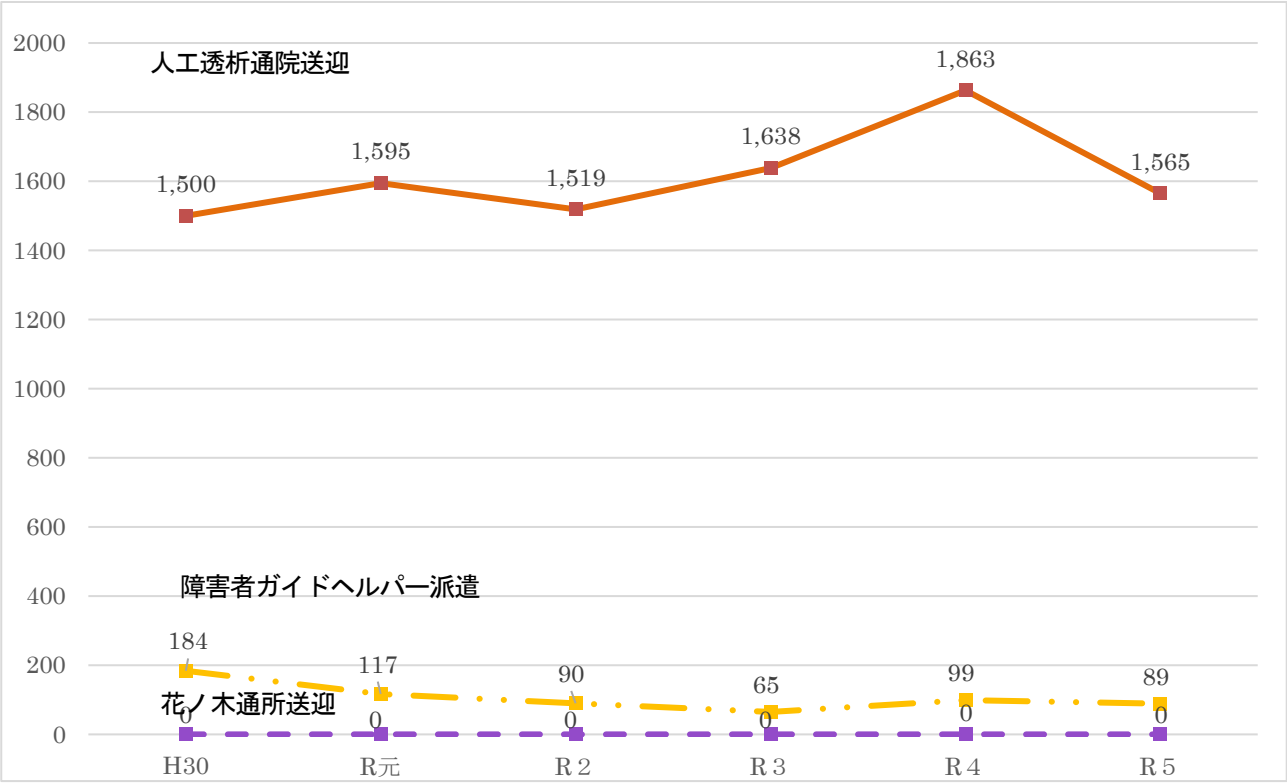
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当事者	4	4	5	1	1	5	3	5	6	―	2	2
家　族	2	6	6	2	3	3	1	9	2	―	2	2

【方向性・課題】

・昨年度に好評だった作品展示会（コレカラー展）の開催に向け、講師を招き作品の製作に取り組めた。居場所利用者だけでなく、地域（自宅）におられる方で作品展示を希望される方にも声をかけ、社会との繋がりのキッカケの場として、今後も継続して開催をしていく方針。また、様々な地域団体との交流も積極的に行い、役割や出番の場を提供。中間的就労支援としては、公共施設の清掃業務委託や、社協の地域活動の場を、引き続き提供していく。

２　障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



（１）重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

■対象者：人工透析患者

■内　容：人工透析のための通院送迎

■提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数（人）	瑞　穂　発（R9）	和　知　発（R27）	合　　計
５年度	**１７２**	**８４**	**２５６**
４年度	１５８	７０	２２８
３年度	１３１	５６	１８７
前年度比較（%）	１０８．９	１２０．０	１１２．３
３年度比較（%）	１３１．３	１５０．０	１３６．９
延べ提供回数（回）	瑞　穂　発（R9）	和　知　発（R27）	合　　計
５年度	**９３９**	**６２６**	**１，５６５**
４年度	９３９	９２４	１，８６３
３年度	９３９	６９９	１，６３８
前年度比較（%）	１００．０	６７．７	８４．０
３年度比較（%）	１００．０	８９．６	９５．５

【成果・課題】

・コロナ感染等の場合は家族対応での送迎を依頼するとともに、引き続き消毒や検温により感染予防に努めている。

・加齢や筋力の低下から車両の乗り降り及び透析室から車両までの移動に介助を要する人が増え、運転手が介助している。

・新規利用者が増えたので、利用者に曜日変更をお願いし、乗車人数を調整して送迎が行えた。

・今後更に利用者が増えれば、曜日や時間帯を変更しても車両定員の関係で対応できない場合が出る可能性がある。

②花ノ木通所送迎

■対象者：重度心身障害者で療育通所利用者

■内　容：花ノ木地域療育施設通所送迎

■提供者：社協外出支援運転手

※今年度利用無し

（２）障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数（人）	延べ提供回数（回）
５年度	**４７**	**８９**
４年度	５４	９９
３年度	４３	６５
前年度比較（%）	８７．０	８９．９
３年度比較（%）	１０９．３	１３６．９

【成果・課題】

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い利用者は減少傾向にあったが、利用者の社会参加として継続した活動ができた。

【児童福祉事業】

1　ファミリー・サポート・センター事業

①　各会員登録状況（３月末）

会　　員　　名	Ｒ５年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員（おねがい会員）	７１	８	２
提供会員（あずかり会員）	４６	２	２
両　方　会　員	２３	０	０

②　研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

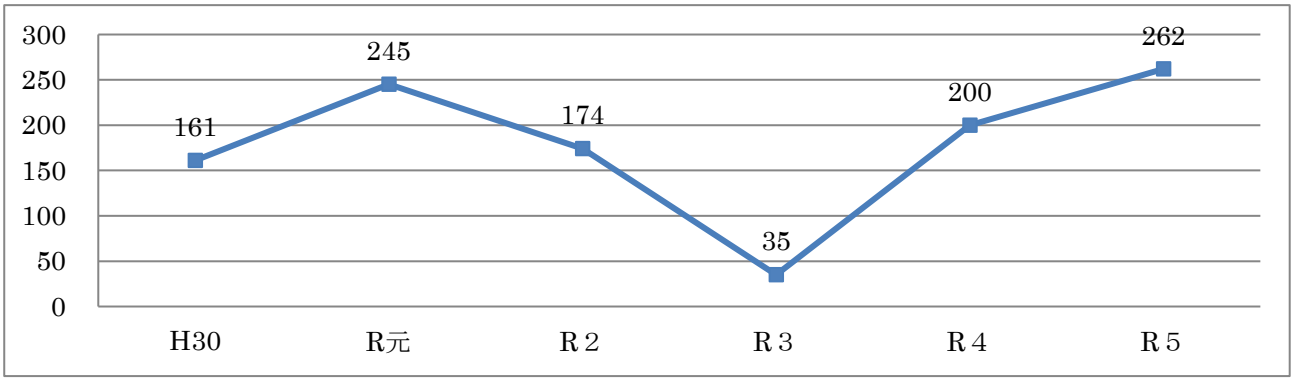
項　目	日時・場所	内　　容
フォローアップ講習会	6月30日（金） 9：30～11：30 京丹波町健康管理センター	内容：『手作りおもちゃを作ろう』 身近にある廃材（牛乳パック、ペットボトルなど）を使ったおもちゃ作り、交流会 講師／両方会員　稲葉　瑠美さん 参加者：８名（提供会員２名、両方会員４名、両方会員子ども：２名）
あずかり会員養成講習会	7月6日（木） 7月7日（金） 9：00～16：00 京丹波町健康管理センター	内容： 〈1日目〉 「子どもの安全と病気の世話」 講師／健康推進課　栗原　天音 氏 「あずかり会員として活動するために」 説明／京丹波町社会福祉協議会地域福祉課　谷山　啓子 「受講生交流」 「会員活動体験談」 報告／提供会員　谷山　和子さん 「救急時対策と応急処置」 講師／赤十字幼児安全指導員　前田　ゆかり氏 村岡　和恵　氏 〈2日目〉 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講師／子育て支援課　山本　竣也　氏 「子どもの権利（人権について）」 講師／子育て支援課　西河　公嗣　氏 「子どもの発達に応じた関わり方」 講師/健康推進課　石原　詩子　氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講師／たんばこども園　小林　和子　氏 「子どもの食生活」 講師／健康推進課　上林　小百合　氏 受講者：１０名（新規受講３名、再受講７名）
会員交流会	9月9日（土） 9：30～12：00 京丹波町健康管理センター	内容：『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、工作、絵本の読み聞かせ 参加対象：ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者：４５名（大人２３名、子ども２２名）
会員交流会	12月16日（土） 9：30～11：30 京丹波町健康管理センター	内容：『絵付け体験』 素焼きの陶器への絵付け体験、交流会 参加者：１９名（大人８名、子ども１１名）

会員交流会	３月２日（土） ９：30～11：30 京丹波町健康管理センター	内容：『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、工作、絵本の読み聞かせ 参加対象：ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者：７３名（大人３８名、子ども３５名）
提供・両方会員交流会	３月 12 日（火） 10：00～11：30 京丹波町健康管理センター	内容『活動報告書の書き方説明会』 活動報告書の新様式の書き方説明会、交流会 参加者：参加者：７名（提供会員５名、両方会員２名、）

③　活動実績・・・調整状況

事　　業　　名	回　　数	内　　容
マッチング	１３	こども園終了後の送迎、保護者急用時の預かり、保護者就労時の預かり、学童終了後の送迎及び預かり、支援学校のバス停への送迎及び前後の預かり、小学校の迎え及び帰宅後の預かり、長期休み中の預かり
活動実績	２６２	習い事教室への送迎、こども園への送迎、下校時の送迎、こども園及び学童の送迎と前後の預かり、保護者就労時の預かり、保護者の病気、急用の場合の送迎及び預かり
新規相談受付	５１	電話、LINE、面談、訪問
連絡・調整	２６１	会員との活動調整、関係機関との連絡

※活動実績の推移（延べ提供回数、単位：回）



【成果・課題】

・あずかり会員養成講習会については、新規１名、追加受講２名、救命講習においては、前回の受講から５年が経過する会員７名が受講し、計１０名の受講となった。

・提供会員の知識及び技能向上として、フォローアップ講習「廃材を使ったおもちゃ作り」を実施した。家庭にあるもので簡単に作れることや、手作りおもちゃの良さを知ることができた。

・子育て世代を応援する「子育て応援広場」を９月と３月に開催した。広場では会員が特技を生かし、絵本の読み聞かせや工作の教え役、来場されたお子さんの見守りなどをしていただいた。来場されたお子さんや保護者と一緒に楽しみ、交流を深める良い機会となった。

・配慮が必要な家庭の活動については、一人の提供会員に負担がかからないよう複数の会員とマッチングを行い、関係機関とも連携を取りながら活動に対応することができた。

・預かりを伴う送迎の依頼が多く、今後の利用回数が多いのが予想されたため、複数の会員とマッチングを行った。しかし地域によっては提供会員の登録数にばらつきがあるため、同じ会員が複数の依頼を掛け持ちすることとなった。

・急な依頼の対応や、依頼会員との連絡調整が困難なことが多かった。

【地域福祉推進事業】

1　啓発活動の展開

（1）社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発　行　月	内　容　等
６３	令和５年４月号	・職員配置図　・赤十字運動・共同募金からのお知らせ ・福祉まつり（写真パネル展）　・フードバンクの取り組み ・京丹波町災害ボランティアセンター　・作業所 NEWS ・相談事業のお知らせ　・ファミサポ　・寄付お礼 ・寄付付き自販機設置のお願い
６４	令和５年６月号	・令和５年度事業計画・予算　・財政改善計画 ・社協会員入会のお願い ・赤い羽根共同募金じぶんの町を良くする活動助成 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・「運転が出来なくなったら…」を一緒に考えませんか？ ・在宅福祉課よりお知らせ　・作業所 NEWS ・寄付お礼　・税制優遇措置のご案内
６５	令和５年９月号	・新役員・新評議員紹介　・賛助会員・特別会員募集 ・令和４年度事業・決算報告 ・令和５年度共同募金運動・年末買物支援助成事業 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・社会福祉体験学習　・在宅福祉課・相談事業のお知らせ ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS　・寄付お礼　・寄付付き自販機設置のお願い
６６	令和６年１月号	・社協会長新春メッセージ　・社協会費お礼　・京都府福祉大会 ・赤い羽根共同募金（公募事業・街頭募金） ・歳末たすけあい募金（年末買い物支援・お掃除応援隊）・ ・コレカラ―展　・京丹波町災害ボランティアセンター ・在宅福祉課よりお知らせ　・相談支援事業　・作業所 NEWS ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ　・寄付お礼

【成果・課題】

・京丹波町社協の広報誌として、季刊（年に４回）で発行した。社協の取り組む事業の紹介や報告、事業の告知などを行った。次年度は、広報紙として必要な情報発信・啓発活動と発行費用・経費のバランスを考えて発行することが検討すべき課題。

（2）facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取組み等について、迅速に情報提供することを目的に facebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

①　投稿実績　４９回

（３）福祉まつりの開催

４年振りに参集型での福祉まつりを開催した。

昨年度に認知症啓発をテーマとし、若年性アルツハイマー型認知症と診断を受けた下坂厚氏の写真パネル展を開催し多くの反響をいただいたので、今年度はご本人にお越しいただき、対談形式で「認知症とともに生きること」についてお話いただいた。

■日　時　　令和６年３月２４日(日)　午後１時３０分～午後３時４５分
■場　所　　山村開発センターみずほ
■内　容　　〇オープニング　アロハ・フラ・ピカケ（フラダンスサークル）
〇ボランティア功労者表彰式典
〇対談「認知症とともに生きること」
話し手　下坂　厚氏（京都府認知症応援大使）
聞き手　荒牧敦子氏（元・認知症と家族の会京都支部代表）
〇ボランティアサークルパネル展示

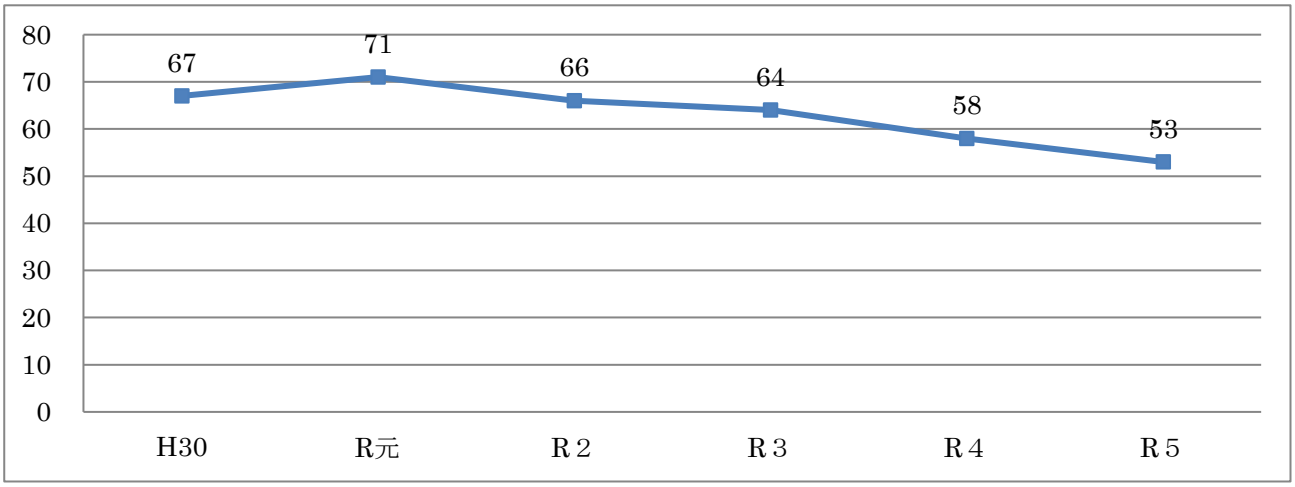
２　地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切にした活動の展開

（１）ふれあいいきいきサロン活動の展開

① ふれあいいきいきサロン各地区の設置状況

丹　波　地　区	瑞　穂　地　区	和　知　地　区	合　　計
（令和５年度実績） ２３サロン 障害者サロン１ 広域サロン１を含む	（令和５年度実績） ２４サロン	（令和５年度実績） ６サロン 広域サロン１を含む	（令和５年度実績） ５３サロン
（令和４年度実績） ２３サロン 障害者サロン１ 広域サロン１を含む	（令和４年度実績） ２７サロン 広域サロン　１を含む	（令和４年度実績） ８サロン 広域サロン　１を含む	（令和４年度実績） ５８サロン 障害者サロン　１ 広域サロン　３を含む

※サロン設置数の推移



【成果・課題】

・担い手の高齢化に伴い、サロン活動を今年度でやめられたところもあるが、新たに立ち上げた地域もあった。

・コロナ禍前のような参集でされているサロンが多くなっている。また、参集が難しいサロンは配食や見守りをされ、活発になってきているように感じる。一方でコロナ禍からそのまま活動が出来ていない地区や解散された地区もある。今後、出前講座などで職員が出向き集まる機会をつくっていくきっかけにすることも考えていきたい。

・次の世代に対しての広報や啓発活動も必要。今までのような形は難しくなってくるのではないかと感じる。引き続き、見守りや住民同士の繋がりの重要性を発信していきたい。

（２）小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹　　波	瑞　　穂	和　　知	合　　計
定例会回数	１２回	７回	１２回	３１回
訪問回数	４８回	１３回	５９回	１２０回
延べ訪問活動者数	４８名	２８名	５９名	１３５名
延べ活動者数	７８名	４４名	１２８名	２５０名
訪問対象件数	７名	７名	８名	２２名
サークル員数	５名	３名	７名	１５名

【成果・課題】

・養成講座という形ではなく、町民講座として幅広く活動者を募集した。しかし、新規活動希望者はなく、参加者の中から傾聴ボランティアに興味を持ってもらえるように発信していくことが課題の一つである。

（３）京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

実施状況

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数

登録事業所	６９事業所／３月末現在
通報件数	４件

【成果・課題】

・今年度は新しく１事業所に登録していただいた。
・通報は４件あったが、全て安否確認がとれた。
・通報時には関係機関に連絡を取り、職員が出向くなどしている。
・今後も引き続き協力事業所を少しずつでも増やしていき、見守り活動や地域活動にも協力してもらえる機会もつくっていきたい。

３　住民参加の地域福祉推進事業

（１）社会福祉体験学習事業の実施

夏休みの期間を活用し、町内在住の中学生・高校生を対象に生徒の自主的な参加のもと、３日間福祉施設等での体験を通じて福祉について学びを深める。

開　催　日	内　　容	参加人数
8月9・10日	たんばこども園（中学生）	２名
8月22・23日	みずほこども園（中学生）	１名
8月21日	わちこども園（中学生）	１名
8月2・3日	わちこども園（高校生）	１名
8月21・23日	京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（中学生）	１名
中　学　生　参　加　者　合　計		５名
高　校　生　参　加　者　合　計		１名
参　加　者　合　計		**６名**

【成果・課題】

・町内事業所の協力のもと実施することができ、それぞれの参加者が、保育園をはじめとする子どもたちに関わる仕事、また福祉関係の仕事など、自分の将来の仕事や進路を考えていく中で、この福祉体験学習への参加となっている。

・短い日数ではあるが、この経験が進路、将来の仕事を実際に体験するためのきっかけとなり、貴重な経験になっていると感じる。高校生に関しては、具体的に進路を考えた中での参加となっている。

・学校の行事、クラブなどある中での福祉体験学習の日程を調整するのが難しくなっているのも感じるが、受け入れ事業所の理解もあり、以前は３日間の体験だったのを１日からの受け入れなど協力してしていただいている。

（２）デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施。

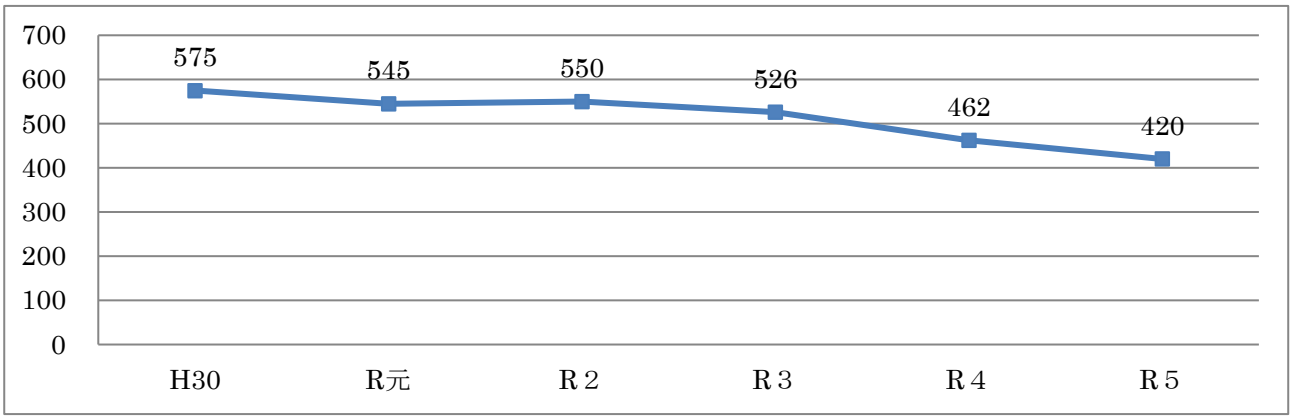
※令和５年度開催中止

【ボランティア振興事業】

1　ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合　計
丹波	男	１０	０	２	３	７	１３	３５
	女	１４	５	１２	１１	２７	１０７	１７６
	計	**２４**	**５**	**１４**	**１４**	**３４**	**１２０**	**２１１**
	４年	０	２	７	１２	４７	１２３	１９１
瑞穂	男	０	０	０	０	１	１４	１５
	女	０	０	１	４	２３	７８	１０６
	計	**０**	**０**	**１**	**４**	**２４**	**９２**	**１２１**
	４年	０	０	１	６	１９	１０７	１３３
和知	男	０	０	０	１	０	３	４
	女	０	０	１	３	２６	５４	８４
	計	**０**	**０**	**１**	**４**	**２６**	**５７**	**８８**
	４年	０	０	１	９	２８	１００	１３８
合　計		**２４**	**５**	**１６**	**２２**	**８８**	**２６５**	**４２０**
４年度		０	２	９	２７	９４	３３０	４６２
比較（%）		―	２５０．０	１７７．８	８１．５	９３．６	８０．３	９０．９

※ボランティアバンク登録者数の推移（単位：人）



2　ボランティア活動状況報告

（1）ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	４０回	８７名
2	朗読ボランティア「ともしび」	２４回	１２０名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	５回	３９名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」	３１回	１５５名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	４９回	１４６名
6	演芸ボランティア「苑の会」	４回	２０名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	１回	３名
8	お誕生カードボランティア「すずらん」	０回	０名
9	絵手紙ボランティア	１４回	４６名
10	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	０回	０名
11	子育てボランティア「さくらんぼ」	３回	８名

12	保育ボランティア	２３回	３５名
13	美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」	９回	３６名
14	豊田あじさいの会	１５回	１００名
15	グリーンハイツすみれ会	５６回	１８５名
16	富田萩の会	１１回	９７名
17	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	２４回	７８名
18	アロハフラピカケ	２９回	５８０名
19	遊び広場もこもこ	１９回	４０１名
20	和太鼓「えん」	４８回	１，１８６名
21	和太鼓「結輪」	２８回	５２名
22	京丹場SUN３協会	２１回	８４名
23	フィールイングリッシュ	８回	３０名
24	コーラスカナリア	１９回	１６３名
丹波支所活動計（イ）		**４８１回**	**３，６５１名**

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	５回	１８名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	８回	１０名
3	朗読ボランティア「あかり」	１２回	４２名
4	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	９回	４４名
5	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	１１回	４２名
6	押し花ボランティア「花かご」	１１回	５４名
7	傾聴ボランティア「なかよし会」	２０回	４４名
8	京丹波スリーＡ	９回	６４名
9	くるみの会	１０回	２０名
10	手話サークル「ありんこ」	２２回	８６名
瑞穂支所活動計（ロ）		**１１７回**	**４２４名**

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	３１回	９０名
2	朗読ボランティア「こだま会」	１２回	６２名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	６４回	３０名
4	十三の会	５４回	６７名
5	七八会	２回	４名
6	虹の会	１２回	６９名
7	お誕生カードづくりボランティア「天花」	８回	３２名
8	手芸ボランティア「モチーフ」	７回	２７名
9	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	２０回	１０６名
10	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	２０回	２１９名
11	彩いろグループ	１３回	１４３名
12	才原グループ「ふきのとう」	４回	８名
和知支所活動計（ハ）		２４７回	８５７名
総　　合　　計（イ＋ロ＋ハ）		**８４５回**	**４，９３２名**

（２）個人ボランティア活動報告

活　　動　　内　　容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	１回	２名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	５回	５名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	１４回	１４名
保育ボランティア	１７回	３０名
2023 京たんば花火大会清掃ボランティア	１回	１８名
合　　計	**３８回**	**６９名**

■各種ボランティアサークルの活動

（３）ボランティア研修・養成講座・交流会の開催

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内　　容
「運転が出来なくなったら…」を一緒に考えませんか？	●第１回　「学ぶ」ジカン 令和５年３月１８日（土） １３：３０～１５：３０ 京丹波町役場　大会議室 参加者　４５名 ●第２回　「磨く」ジカン 令和５年４月１５日（土） １３：３０～１５：３０ 京丹波町役場　大会議室 参加者　４１名 ●第３回　「動く」ジカン 令和５年８月１９日（土） ９：３０～１２：３０ 京丹波町役場　防災会議室 参加者　７名	●講座 「外出支援の制度について」 「外出支援事業の現状と課題」 京丹波町内の交通課題について、住民に知ってもらう事を目的に役場担当職員による制度説明と町内の事業所から現状と課題について報告いただいた。 ●実践報告・グループワーク 「北久保移送支援サークル」と「竹野カーシェアリング部会」による実践報告。 その後グループワークにて「運転が出来なくなったら…」というテーマで、何が必要で、自分たちがその立場になればどうあってほしいかを検討しあった。 ●実際に活動を立ち上げたいと考えいる方を対象に、活動する際の重要事項や、どのような事が実際に出来るかなど、グループワークの形式で行った。 のちに２地区（下大久保・橋爪）で、移送支援が始まった。
令和５年度 京丹波町ふれあい・いきいきサ	令和５年１１月２日（木） ９：３０～１１：３０	●情報交換会 ●京都私立病院協会会員施設のリハ

ロン活動者交流会	京丹波町役場　大会議室 参加者　２７名	ビリテーション従事者を中心としたキャラバン隊による脳トレ・体操・嚥下体操
第１１回 きょうと地域福祉活動実践交流会 つながりづくりに楽しくチャレンジ ～みんなが主役のまち、そして輝く未来へ～	令和５年１１月２５日（土） １３：００～１６：２０ 瑞穂保健福祉センター　ほほえみ　２階 （zoom にて参加） ２０名参加	【講演】 「つながりづくりに楽しくチャレンジ！～みんなが主役のまち、そして輝く未来へ～」 講師：西川　正　氏 （特定非営利法人ハンズオン埼玉副代表理事） 【実践報告・パネルディスカッション】 ・子ども食堂あいこのいえ ・そやなぁ談義 ・上紺屋・鍛治町ふれあいいきいきサロン＆ラジオ体操 【グループワーク・まとめ】 ・各社協内での意見交換会及び全体共有
令和５年度　傾聴講座	令６年３月２日（土） １０：００～１１：３０ 京丹波町役場本庁 １階　防災会議室 参加者　３１名	テーマ 「話を聞く事から始まる 優しさを伝えるということ」 講師：大西　直世 氏 （日本バプテスト病院看護部　師長） ●目的 ・聴くことの意味を学ぶ ・聴くことの大切さを学ぶ ・聴くことの心構えと技術を学ぶ ●傾聴者自身が受ける益 ●聴くときの姿勢と心構え

■「運転が出来なくなったら…」を一緒に考えませんか？（Ｒ５．３．１８、４．１５、８.１９）

■令和５年度　傾聴講座（Ｒ６．３．２）

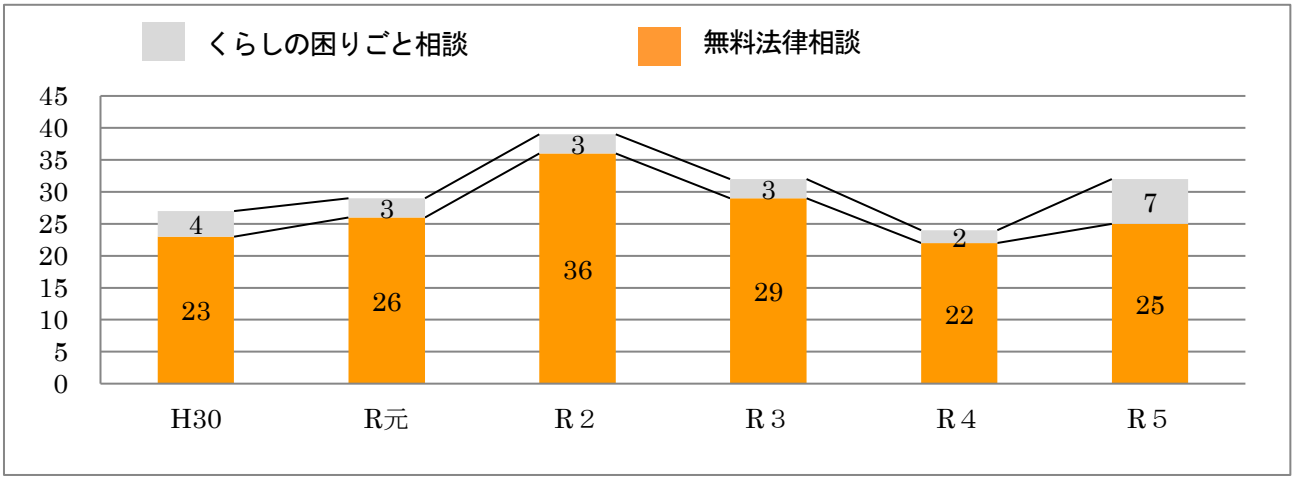
【成果・課題】

・ボランティア団体や活動者の減少がみられるが、活動者自身の居場所や活動が生きがいになっている。
・福祉事業所や地域のまつりへの活動依頼があり、住民に活動を知っていただく機会が増えてきた。
・「有償ボランティア」という形も浸透してきた中で、従来からの「無償の活動　＝　ボランティア」ではなく、ボランティア活動に対する考え方も時代と共に変化してきている。

【厚生福祉事業】

１　くらしの困りごと相談事業（心配ごと相談）

（単位：人）



くらしの困りごと相談	開　催　日	来談者	無料法律相談	開　催　日	来談者
和知	４月１２日	0	瑞穂	４月　３日	5
丹波	５月　１日	1	丹波	５月　１日	2
瑞穂	６月　７日	0	和知	７月　３日	5
和知	７月１２日	1	瑞穂	８月　７日	3
丹波	８月１６日	1	丹波	１０月２日	3
瑞穂	９月　６日	0	和知	１１月６日	1
丹波	１０月２日	2	瑞穂	１２月４日	2
和知	１１月８日	1	丹波	２月　５日	2
瑞穂	１２月１３日	0	和知	３月　４日	2
和知	１月１０日	0			
丹波	２月　５日	0			
瑞穂	３月　６日	1			
合　　計		**７件**	**合　　計**		**２５件**
令和４年度実績合計		２件	令和４年度実績合計		２２件

【成果・課題】

・全体の相談所利用件数は昨年度より８件多かった。

・くらしの困りごと相談の利用が相対的に多く、過去最多の７件の利用があった。収入や土地家屋、ご近所トラブル等の困りごとに対し、南丹保健所や役場、包括支援センターと連携し必要な情報提供を行った。３件は無料法律相談の利用に繋がった。

・無料法律相談では土地や相続、離婚等に関する相談が多かった。年齢層は３０代～７０代、京丹波町安心アプリを見て申し込まれる方が多く見られた。

２　福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

（１）新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	0	0	0	0
くらしの資金貸付	0	0	0	0

【成果・課題】

・生活福祉資金、くらしの資金ともに新規の貸し付け申込みは無く、現在償還中のケースへの償還相談や償還促進などの対応を行った。

（２）特例貸付フォローアップ事業【新規】

①窓口相談及び訪問等のアウトリーチによる償還相談および手続き支援

〇償還猶予・分割償還に係る周知・相談・申請手続き支援

〇償還免除に係る案内（コールセンターの案内）

	アウトリーチ	借受人から	合計
償還相談件数	１１件	１２件	２３件

※物資配布に合わせた架電は８１件、配布時の対応は１２２件

上記のうち

猶予申請	分割申請	免除案内
２件	０件	３件

②未償還者及び未応答者等への生活状況・実態の把握

アウトリーチ	生活状況等が判明
２件	０件

③物価高騰対策緊急生活支援事業物資配布

配布世帯内訳

	１回目	２回目	延べ配布世帯数
子育て世帯	６件	６件	１２件
高齢世帯	２２件	２８件	５０件
困窮世帯	２２件	１６件	３８件
合計	５０件	５０件	１００件

【成果・課題】

・特例貸付を利用された方へ架電し、生活の状況の確認、償還猶予や免除の相談などの対応を行った。

・また合わせて物価高騰の支援物資（食料品・生活必需品）の配布を行い、それをきっかけにして生活状況を確認するアンケートを実施した。

３　フードバンク「わっか便」

生活困窮等で支援を必要とされる世帯に対し、町内の事業所や住民から寄贈いただいた食材等を提供する。

	提供世帯数	ご寄付いただいた食材等
第１期（５月実施）	２５世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料
第２期（７月実施）	２６世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料
第３期（１１月実施）	２７世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料
第４期（Ｒ６．２月実施）	２９世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料

■町内の事業所のご協力
・株式会社創味食品　丹波工場
・石井食品株式会社　京丹波工場
・ファミリーマートFC京丹波蒲生店

【成果・課題】
・取組みを始めた昨年度（令和４年度）から通して、高齢世帯(国民年金のみ)への提供が多かった。年金の限られた収入の世帯が、物価高騰等によりさらに生活が苦しい状況であり、高齢者の多い京丹波町の特徴である。
・課題解決に繋げる（福祉支援課に生活保護の相談や相談員に家計相談）こと、つながり続けることが大切であり、フードバンク（わっか便）をとおして見えてきた地域の課題として、今後も引き続き支援に取り組む。

【福祉関係組織活動支援】

1　日赤社員増強運動

（単位：円）

項　目	丹　波	瑞　穂	和　知	合　計
協力活動資金額	６２０，７０１	４７７，２１９	４１９，３５０	１，５１７，２７０

2　共同募金実績

（１）　赤い羽根共同募金運動　⇒　１０月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項　目		内　容	合　計
募　金　額		令和５年度募金額	2,730,298 円
配　分　総　額		令和４年度募金の配分金	2,272,215 円
前年度配分金		令和３年度募金の配分金（未交付分）	1,563,355 円
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	750,812 円
	②高齢者福祉事業	町老連助成	90,000 円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会助成等	180,000 円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	130,000 円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	180,000 円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援	1,139,860 円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	100,000 円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	1,264,898 円

（２）歳末たすけあい募金　⇒　１２月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項　目		内　容	合　計
令和５年度募金額		戸別募金、法人募金、個人募金	1,492,521 円
配　分　総　額		令和５年度募金の配分金	1,373,521 円
前年度配分金		令和４年度募金の配分金（未交付分）	106,206 円
配分内訳	①在宅援助活動	見舞・激励金の配布	725,000 円
	②在宅サービス事業	年末お掃除応援隊、買物支援、介護用防水シーツ配布	473,000 円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000 円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	181,727 円

（３）京丹波町共同募金運営委員会・・・１回

R5.6.1	令和４年度事業報告及び決算報告について 令和５年度募金配分事業計画について 令和５年度募金推進計画及び予算について 令和４年度未交付配分金事業計画について

（４）京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・　４回

R5.5.29	令和４年度事業報告について 令和５年度事業計画について 令和５年度じぶんの町を良くする活動助成について
R5.7.28	じぶんの町を良くする活動助成審査
R5.9.1	令和５年度歳末たすけあい募金配分事業について 歳末たすけあい激励金事業の実施について
R5.12.8	令和５年度歳末たすけあい募金について 歳末たすけあい激励金配分について その他歳末配分事業について

3　京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

・和知支部

単位クラブの組織の弱体化に伴い、役員選出も難しくなり、退会のクラブが続出した。

今後の存続が危ぶまれる。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

1　他市町村社協災害ボランティアセンター支援

令和５年台風７号により京都府北部に豪雨災害が発生し舞鶴市、福知山市、綾部市で災害ボランティアセンターが開設され、京都府市町村社協連合会から職員派遣が行われた。

京丹波町社協は、綾部市災害ボランティアセンター（物部公民館）への派遣が要請され、被災地での災害ボランティアセンター運営支援として職員を派遣した。

なお、元日に発生した能登半島地震についても職員派遣要請があったが、調整が合わず京丹波町社協からは今年度中の職員派遣は無かった。

●綾部市災害ボランティアセンターへの職員派遣対応（派遣日数８日、延べ 10 名）

8/18（金）	8/19（土）	8/20（日）	8/23（水）	8/26（土）	8/28（月）	8/29（火）	8/30（水）
津田勝二	津田勝二	山本亮栄	岡本秀平	山本亮栄	岸本　宏	山本亮栄 山﨑史陽	竹村一宏 山﨑史陽

2　研修・講座・訓練・会議等

研　　修　　名	開催日	内　　容
第１回災ボラ担当者会議	4/20	顔合わせ・職員研修に向けて・町民講座に向けて・広報紙について
第２回災ボラ担当者会議	5/18	出前講座についての打ち合わせ・町民講座に向けて・広報紙について
第１回南丹ブロック災ボラ会議	6/9	相互協定に基づく取組みについて
出前講座	6/12	大朴区サロン
第２回南丹ブロック災ボラ会議	7/14	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて

第３回南丹ブロック災ボラ会議	7/28	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
災ボラ町民講座	7/29	「みんなが主役！ハッピー防災」 講師：関西大学社会安全学部　近藤誠司教授
第４回南丹ブロック災ボラ会議	8/24	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
京都府総合防災訓練（初動支援チーム訓練）	9/3	京都府総合防災訓練において実施された京都府災害ボランティアセンター初動支援チーム訓練に参加。
出前講座	9/5	東又区サロン
第５回南丹ブロック災ボラ会議	9/12	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
第６回南丹ブロック災ボラ会議	9/29	南丹ブロック災ボラシンポジウム会場下見・会議
第７回南丹ブロック災ボラ会議	10/26	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
出前講座	11/1	鎌谷下区サロン
第４回災ボラ担当者会議	11/10	出前講座についての打ち合わせ・町民講座に向けて・広報紙について
第８回南丹ブロック災ボラ会議	11/15	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
園部ライオンズクラブ定例会（災ボラ講座）	11/15	災害ボランティアセンターについて
第９回南丹ブロック災ボラ会議	11/29	南丹ブロック災ボラシンポジウムについて
南丹ブロック社協災ボラ合同シンポジウム	12/10	南丹地域における災害の10年を振り返る内容

【成果・課題】

・南丹ブロック（亀岡市・南丹市・京丹波町）でシンポジウムを開催できたことは良かった。

・綾部市に災害ボランティア派遣として多くの職員が運営支援に入れたことは、市町村連携や京丹波町での今後の取り組みにつながると考える。

・能登半島地震への職員派遣は、令和６年度も派遣支援が続くことが予想されるため、京都府市町村社協連合会と調整しながら対応したい。